



医療法人社団 仁恵会

石井病院

人工透析ひ尿器科じんけいクリニック

Now

Vol.171

- Since 2008

JINKEIKAI NEWSPAPER

発行：2022.6

## 石井病院 下肢静脈瘤外来 下肢の慢性静脈不全による難治性潰瘍治療のための

～ 弾性着衣等に関わる療養費の支給についてのご案内 ～

### ◎ 下肢の慢性静脈不全とは？

下肢の慢性静脈不全では、下肢の静脈高血圧による静脈うっ滞性皮膚病変（色素沈着・湿疹・静脈性潰瘍等）が出現します。特に静脈性潰瘍は下腿下1/3に好発し、難治性で再発しやすく、社会的経済的負担も大きいです。この難治性潰瘍の基本的な治療法は「**圧迫療法**」で下肢を弾性ストッキングや弾性包帯などの装具で圧迫を行います。

現在、**静脈性潰瘍の圧迫療法が施設基準を満たす施設のみが保険適用**となっています。

当院は、下肢の慢性静脈不全による難治性潰瘍治療のための弾性着衣等に係る療養費の支給要件である厚生労働大臣が定める「**静脈圧迫処置**」の施設基準に適合しています。

具体的には、血管外科/皮膚科/形成外科/循環器内科の連携のもと、「**弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター**」資格を取得している医師、看護師が難治性潰瘍を患った患者さんに対し、症状の改善と予防のための「**圧迫療法**」と「**処置**」を行なっています。



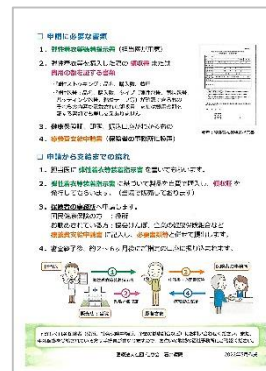
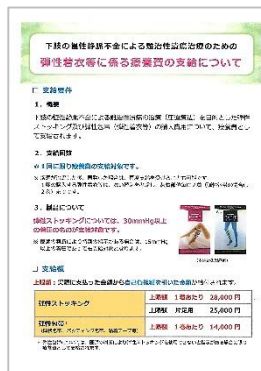
潰瘍



### ◎ 支給要件等

下肢の慢性静脈不全による難治性潰瘍の治療（圧迫療法）を目的とした弾性ストッキング及び弾性包帯（弾性着衣等）の**購入費用について、療養費として支給されます。**

なお、支給についての詳細は、当院外来にて「**弾性着衣等に係る療養費の支給について**」（右図）の案内を配布させていただきますので、ご参照ください。



### ◎ 下肢静脈瘤外来のご案内

当院では、より質の高い診療を行うため、特定の疾患や症状について、各外来担当医がそれぞれの精通した専門分野をふまえて、専門的な診断・治療をする専門外来を併設しています。日本脈管学会認定脈管専門医である院長石井を中心にエコー、CT等の最新の医療技術を駆使し、低侵襲の治療に努めています。

下肢静脈瘤でお悩みの方はもちろん、立ち仕事の方、むくみやだるさにお困りの方は、ぜひ当院「**下肢静脈瘤外来**」を受診してください。ストッキング療法が必要と医師が判断した場合、適切な医療用弾性ストッキング等の着用を指導します。

| 午前診                            | 月  | 火           | 水  | 土         |
|--------------------------------|----|-------------|----|-----------|
| 受付 9:00～12:00<br>診察 9:00～12:00 | 中村 | 中村/石井 9:30～ | 石井 | 石井 1.3.5週 |

| 午後診                              | 月  | 火        | 木     |
|----------------------------------|----|----------|-------|
| 受付 16:00～18:30<br>診察 16:00～19:00 | 石井 | 楠 17:00～ | 中村/西本 |





## 人工透析ひ尿器科じんけいクリニック

### ～ 院内感染対策強化及び対策向上について ～

2022年4月より、当院では全国の病院・診療所の状況を踏まえ、外来診療に関する感染対策強化・対策向上を目的に、院内感染防止対策委員会を組織的に明確化し、院内感染管理者を設置の上、対策を講じております。

院内感染管理者の業務として、

- 週に一度の院内巡回を行い、院内感染のリスク把握を行い、対策を早急に講じる。
- 院内感染防止対策の取組事項の掲示の確認を行い、取組事項が常に最新であるかを確認し、最新の情報のもと適切な取り組みを行う。
- 感染院内感染対策に関する研修の開催を年に二回実施し、スタッフのレベル向上及び感染対策に対する意識付けを行う。
- 連携保険医療機関・医師会の院内感染対策カンファレンスに年に二度参加し、情報を共有し地域の感染状況を把握し患者様へ情報共有を行う。
- 感染防止対策に関わる指針及びマニュアルの整備を行い、いつ何時でも適切な対応を行えるよう、常にマニュアルを更新しながら対応する。
- 抗菌薬適正使用の監視を行い、薬剤耐性菌の発生に対し適切に対応する。
- 新興感染症等への対応できる体制を構築し、患者様へ当院の診療を安心して受けて頂く。
- 新興感染症の発生を想定した訓練を年に一度実施し、院内スタッフの教育訓練の場を設ける。
- 新興感染症や院内アウトブレイクの発生に備えた協議をとりまとめる。新興感染症では、常に新しい情報を元に対応を行える環境を整え、主導的に院内のとりまとめを行っていく。
- 連携保険医療機関・医師会との連携体制を確保するとともに感染状況の報告、抗菌薬の使用状況などについて報告を行い、地域のまとまった感染対策に協力する。

以上の業務を適切に行いながら、院内感染対策をクリニック全体で組織的に、行っております。全スタッフが、感染に対し意識し、安全に業務を遂行します。そして意識の統一・向上を行う事で、感染などが発生した場合及び疑われる場合でも適切に判断し、行動できます。院内での問題を把握し、改善するよう対策を講じていきます。

院内全体で協力しながら、患者様の安全安心を守っていけるよう対応してまいります。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。



仁恵会本部事務課長代行  
兼 人工透析ひ尿器科  
じんけいクリニック  
事務長代行  
はら しんいちろう  
**原 真一郎**



人工透析ひ尿器科  
じんけいクリニック  
看護主任  
いば みほよ  
**伊庭 美保代**



#### ■ 医療連携相談室

平日 9:00～12:00 14:00～17:00  
土曜 9:00～12:00  
担当 酒見 古門 上野

#### 編集・発行

医療法人社団 仁恵会 石井病院 広報委員会  
〒673-0881 明石市天文町1-5-11  
TEL 078-918-1655 FAX 078-918-1657  
<http://jinkeikai-group.or.jp/ishii/>